

◇「国語を学ぶことを楽しむ」児童生徒を育てるために(羽島市)

訪問や研究授業を参観させていただくと、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、動き、使い方に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めようとする授業が増えてきた。今後さらに、県が示している授業改善資料をさんこうにして、児童・生徒が楽しみながら授業に参加し、主体的に学ぶ姿を生み出していきたい。

指導改善資料 子どもの目線に立つ2022 (岐阜県教育委員会 学校支援課) より

指導改善のポイント	その1 「漢字」「語彙」など、身に付けた〔知識及び技能〕を、学校生活の様々な場面で必ず使うようにしましょう。	その2 言葉(叙述・描写)を基に考え、互いの見方・考え方を仲間と交流することによって得られる楽しさを味わえるようにしましょう。
	漢字を読んだり書いたりする機会を意図的・計画的に設定する。 漢字を使えた姿を大いに褒め、使いこなせた喜びを感じさせる。	「着目した言葉(叙述・描写)」と「そこから読み取れること」を明確にして伝える。 読みの面白さを味わわせるために、発達の段階や指導事項を踏まえて、発問を工夫する。

3三イ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。(はんせい「反省」) 小学校
 自校 (小:市48.1 県51.3 全国58.7)
 <指導改善のポイントをいかして>
 読書をする事で、教科書以外の言葉や漢字に触れる機会が増えます。分からない言葉や読めない漢字を調べる習慣が身に付くと、自然に語彙の量が増えていきます。
 【例】

- ・国語辞典や漢字辞典、タブレットを使って漢字の成り立ちを調べたり、新出漢字を使って文を作ったりする時間を位置付ける。
- ・朝学習や授業前の時間を活用し、「言葉集め」や「漢字クイズづくり」等を行う。

国語2二 「C 読むこと」 小学校
 人物像や物語の全体像を具体的に想像する。
 自校 (市64.1 県65.4 全国68.3)
 <指導改善のポイントをいかして>
 登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断することが必要です。
 「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読むことが、物語の全体を具体的に想像するために重要です。

3一 表現技法について理解する。中学校
 自校 (中:市51.6 県54.2 全国52.5)
 <指導改善のポイントをいかして>
 得た言葉を、実際に日常の会話や文章で使うことにより、質が高まります。
 【例】

- ・中学校第2学年「表現を工夫して書こう～手紙や電子メールを書く～」において、相手や目的に応じて敬語を適切に使う。
- ・伝えたいことを明確にし、具体例を入れたり、表現を工夫したりする。

3三 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える。 中学校
 自校 (市63.0 県62.9 全国62.0)
 <指導改善のポイントをいかして>
 場面と場面、描写と描写などを結び付けて内容を解釈する際に、なぜそう読み取れるのか、解釈の根拠を考えることで文章を深く理解することにつながります。
 【例】

- ・叙述に着目する。「誰の行動を示す言葉かを～」
- ・言葉を絞り込む。「言葉を比較して～」
- ・複数の場面や描写を関連させる。「『〇〇』という言葉が出てくるほかの部分と関連させて～」

令和4年度 全国・学習状況調査のまとめ(国語)
 ○出題の傾向と羽島市の状況
 <国語> 小学校

- ・グループでの話し合いの様子など、学校生活の場面を題材にした設問が目立ち、知識と思考力を問う出題がバランスよく出題されました。その中で羽島市は、「話すこと・聞くこと」における「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える力」が定着しつつある一方で、漢字の書き取りなど基礎的な知識を問う問題に弱さが見られます。

<国語> 中学校

- ・農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える設問から、情報を読み解く力が今後子供たちに求められていることが伺えます。その出題に対して羽島市は、全国平均を上回っており、一定の定着が見られました。GIGA スクール構想のもと、授業における効果的なICT活用を実践してきた一定の成果が出ている。一方で日本の言語文化である「行書」についての知識については、弱さが見られました。